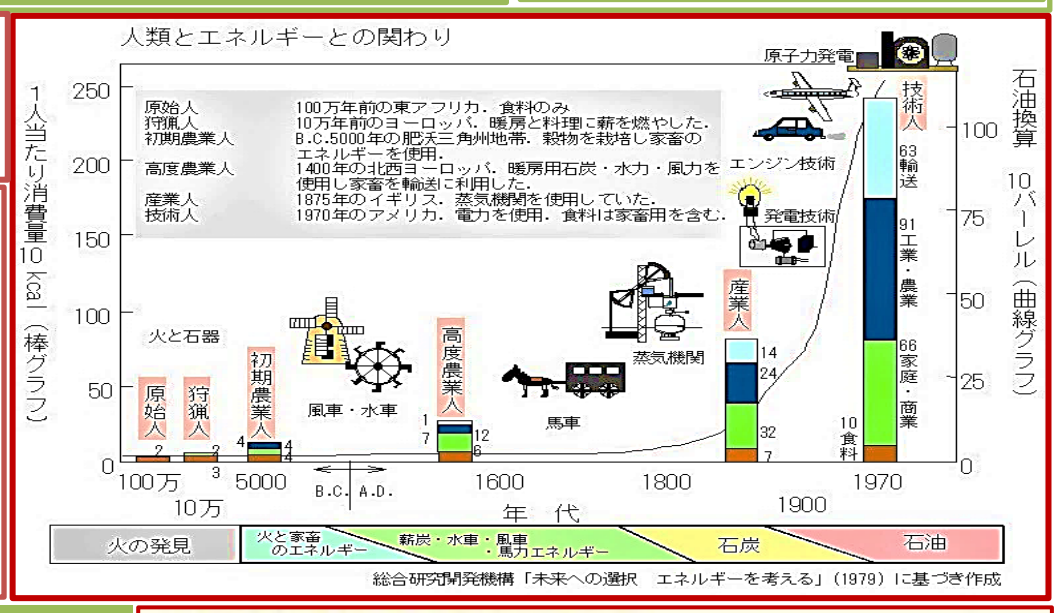
NPO ピースサポート協会 ニュース 第 12 号

ピースサポートとは「こころの平和支援」の願いが込められています。　2021 年（令和３年）５月

発行　NPO 法人 ピースサポート協会
〒379-2143　群馬県前橋市新堀町 190 番地１
TEL/FAX　027-265-2277
E-mail：info@peace - sa.co
URL:http：//peace - sa. com

新型コロナウイルスは 人類への警告？
あと8年で地球温暖化大絶滅のはじまり？

地球が誕生して 46 億年、人類が誕生したのが 700 万年前、
文明が栄えるのが 2000 年ほど前でした。
そして**今からたった 100 年ほど前から**、人類は地球のエネルギーを消費して、文明の進化と開発のために化石燃料による二酸化炭素を排出し、地球温暖化が急速に進み、自然環境が破壊され、生態系は崩壊し
あと８年で地球は大絶滅へのはじまりにいるといわれています。
私たちは今こそ、子どもたちの未来のために地球環境を考え、
便利を求めるだけでなく、すべてのものの命を大切にして、
家族同士が助け合い、地域住民が支え合える
心豊かな社会づくりが求められているのではないでしょうか・・・。



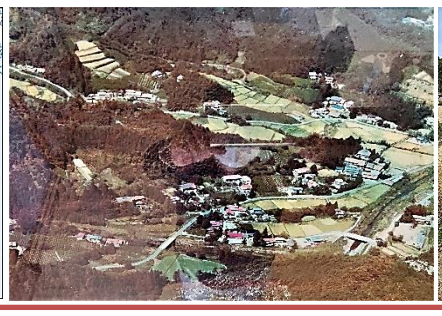
総合研究開発機構「未来への選択　エネルギーを考える」（1979）に基づき作成

3.11 大震災から 10 年・日本国内の災害

NO	災害内容	死者・行方不明者	全半壊の住宅
◎	2011（H23）3.11 東日本大震災	死 15,884 不明 2,636 関連死 3,711 人	約 130,000 棟
1	2011　　９月紀伊半島豪雨	98 人	約　3500 棟
2	2014（H26）８月広島土砂災害	77 人	約　400 棟
3	2014（H26）９月御嶽山噴火	63 人	
4	2016（H28）４月熊本地震	273 人　関連死 220 人	約 43,400 棟
5	2016　　８月台風 10 号	29 人	約　2,800 棟
6	2017（H29）７月九州北部豪雨	44 人	約　1,400 棟
7	2018（H30）７月西日本豪雨	271 人	約 18,100 棟
8	2018　　９月北海道地震	43 人	約　2,100 棟
9	2019（R1）　10 月台風 19 号	121 人	約 33,300 棟
10	2020（R2）　７月熊本豪雨	86 人	約　6,000 棟
11	2019 12月～新型コロナウイルス *2021　（R3.5現在）*	国内死者　重傷者 *12,931 人　1383*	国内感染者 *74 万 2080 人*

被災地？人ごとではない！今こそ「支え合い・顔の見える町づくり」こそ・・・　異常気象から学ぶ

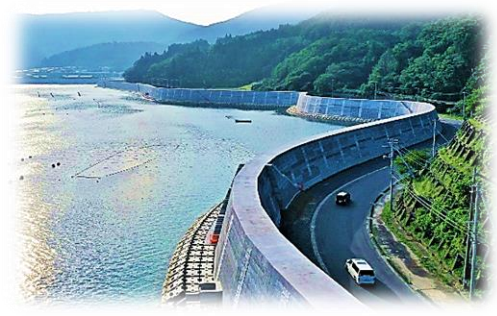
宮城県丸森町　台風 19 号で 10 人が死亡　民生委員会長が 100世帯の住民のいのちを救った！



令和２年 10 月 28 日、宮城県丸森町を訪ねました。
民生委員会長の佐久間新平さんは、台風 19 号の土砂崩れで被災し、自らの家屋敷を失ってしまいました。命を救われた約 100 世帯の住民の皆さんは、仮設住宅に移動していました。住民の生活復興のために奮闘したが国からの緊急災害指定区域には指定されず、県からの助成金支給となりました。住民の家庭環境はそれぞれでした。一人暮らしの人や、災害保険をかけてない人、その一人一人を何とか支えようと取り組む佐久間会長さんのお気持ちに触れて、思わず胸が熱くなり涙があふれてきました。
次々におそい重なる災害にも、立ち向かう丸森町被災地の人々・・・。

この丸森町は、福島県の県境、福島原発事故の放射能被害を受けたが、宮城県のために保証など対象外。移住された住民も続出した地域でした。
佐久間会長さんは、地域役員とともに新しい集団移転の移住先を探し求め、「和田東団地」の区画整理にこぎつけました。
佐久間会長さんは「100 世帯すべてではないが住民の皆さんが少しでも安心できるようになってきています」「みんなで声かけ励まし合って生きていけば必ず乗り越えられる！・・・」
大事な大事なことを教えていただきました。

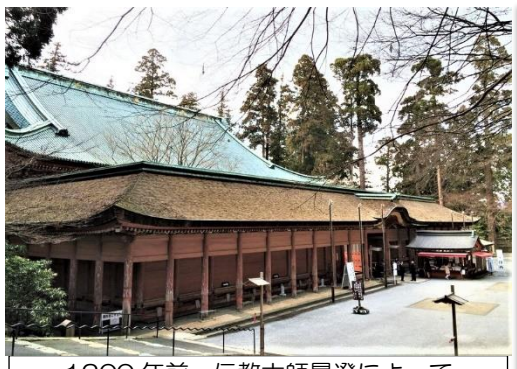
3.11 大震災から 10 年　今も避難生活者 4 万 1241 人！　石巻市雄勝町は、三分の一に人口減少



令和２年１０月２９日、石巻市雄勝町を訪ねました。
「日本一美しい漁村」と呼ばれた雄勝町は 6.4 ㍍の防波堤壁に囲まれた町になりました。壁の高さに圧倒され、海も見えず、波の音も聞こえない。「こんな高い防波堤はいらない！」という住民の声、**石巻市・雄勝町**は、震災の大津波で建物の 8 割が破壊されました。その後の**人口減少**は深刻で、震災前に 4300 人だった**人口**は、現在では 1300 人まで減ってしまいました。

ワカメを食べて復興支援に ご協力をお願いいたします！
津波による甚大な被害によって、陸も海も地盤沈下し、様変わりしてしまった漁場や風景。雄勝湾はホタテやカキ、ウニ、ホヤ、ギンザケなどを主力とする養殖漁場です。海水温が上昇すればカキやワカメの養殖に影響されます。大震災から 10 年過ぎた今でも、若い家族は戻らず遺された高齢者が助け合って生きています。「本当に 10 年間にわたる生活復興支援やワカメ支援を頂き、感謝で一杯です。」　雄勝町漁師の横江さん。

国宝とはなにものぞ、宝とは道心なり。道心ある人を名づけて国宝と為す。



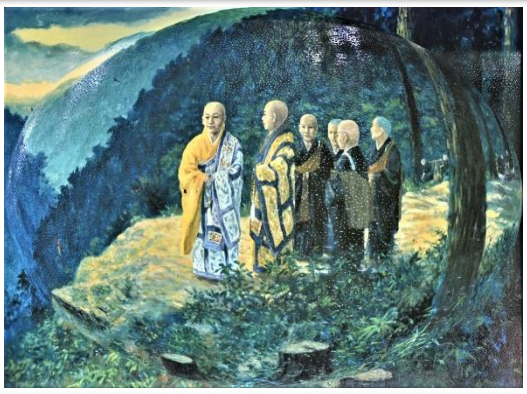
1200 年前、伝教大師最澄によって
開かれた天台宗総本山の延暦寺

『山家学生式』（さんげがくしょうしき）

国宝とはなにものぞ、宝とは道心なり。道心ある人を名づけて国宝と為す。故に古人言わく、径寸十枚、是れ国宝にあらず、一隅を照す、此れ則ち国宝なりと。～中略～　すなわち道心あるの仏子、西には菩薩と称し、東には君子と号す。悪事を己に向え、好事を他に与え、己を忘れて他を利するは、慈悲の極みなり。　伝教大師最澄(767-822)

平安時代に比叡山延暦寺を開き日本天台宗の宗祖である伝教大師最澄（767-822）が著した『山家学生式』心にズシンと響きます。「お金や財宝は国の宝ではなく、家庭や職場など、自分自身が置かれたその場所で、精一杯努力し、自分を捨てて人のため社会のために身を尽くし、その場を明るく照らす人こそ、何ものにも代え難い尊い国の宝である」平和を愛する日本人として、心に深く噛みしめて日々歩んで参りたいものです・・・。

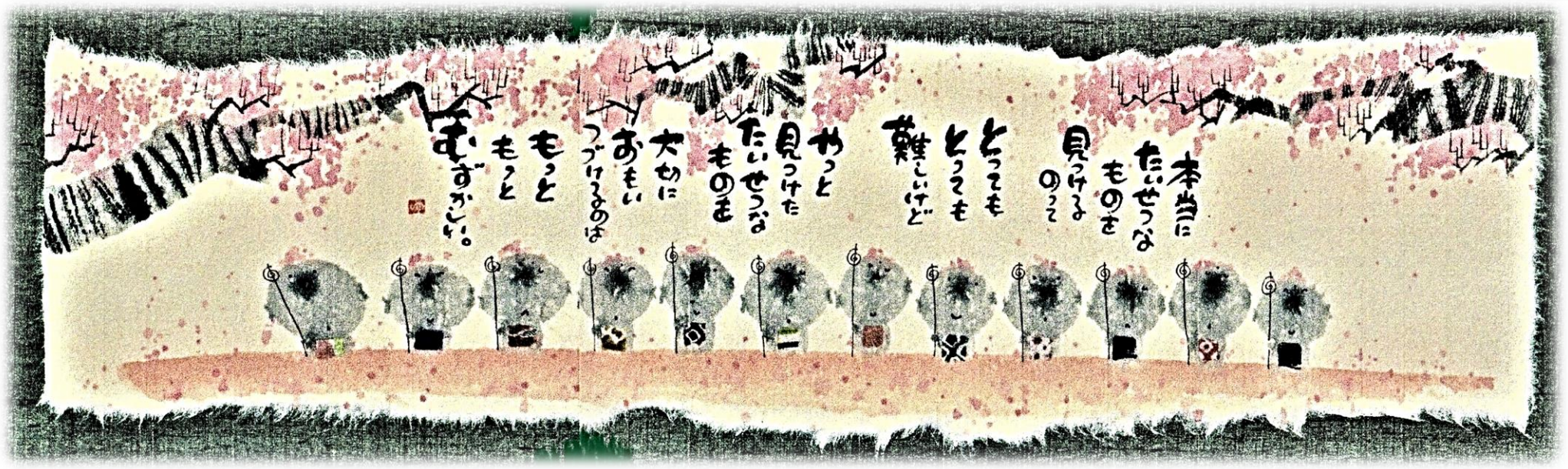
伝教大師最澄は 12 歳頃に出家し 14 歳で「最澄」、19 歳のときに東大寺で正式な僧になります。804 年に「遣唐使」として中国に派遣され天台教学を学んだ他、禅の教えや密教の伝法を受け、数か月後に日本に帰国。そして天台教学の教えを日本に広めるため、822 年６月４日、天台宗を開宗。
最澄は 56 歳で遷化(せんげ)されました。



『伝術一心戒文』（でんじゅついっしんかいもん）

道心の中に衣食あり衣食の中に道心なし。

道心とは正しい道を求める心、衣食とは衣食住のこと。
自ら正しい心を持ち正直に生きる人は、自信が生まれ
衣食住の環境がおのずとついてくる。
衣食住の物質欲にとらわれて、正しい道を失えば、不安や
不信が生まれ、争いが起り、衣食住の環境も整わない。



NPO活動の報告

事業報告･活動計算書はＨＰ http://peace - sa.com をご覧ください。または事務所で閲覧できます。

群馬パース大学にて真剣に学ぶ 139 名の学生さん

群馬パース大学において学習しました。「地域ボランティア活動論」　　R3.5.19

毎年お声かけいただき５年目となる今年の授業、コロナ禍の中でも 139 名もの大勢の学生さんが集合し「地域ボランティア」の活動を真剣に学びあいました。
ボランティアとは、自主的に、無報酬で、社会のために、喜んで活動するという４原則。
それには、まず自ら行動を正し、自信を持って他のために尽くせる人になること・・・。
平成 14 年から 10 年間のカンボジア学校建設支援報告から、カンボジアの悲劇の歴史を学び平和の大切さをかみしめ合いました。そして平成 23 年（2011）3.11 東日本大震災から 10 年間の被災地支援活動を通して教えていただいた大事なこと。家も家族も失ってしまった被災地の皆さまが、どんなに悲しい現実でも立ち向かい助け合って生き抜いておられることから。
「震災は人ごとではない！　私たちも家族を大事にして、地域住民が助け合っていく『顔の見える町づくり』を進めていくこと」が何より大事なことを噛みしめ合いました。
未来を担う素晴らしい学生さんへ心からエールを送らせて頂きました。　（久保田拝）

令和２年度　支援活動の報告　温かいご支援ありがとうございました。	
支援活動	内　　容
ワカメ昆布支援活動	3,026 袋　（振り込み済み）
復興支援活動	福島県被災地・宮城県雄勝町　（￥248,000）
人材育成事業	ダルマ塾　（コロナ感染防止のため自粛）
講演会事業	前橋市，足利市(参加者 126 名)
海外支援活動	ミンダナオ・子ども里親支援
理事会・役員会	理事会 年２回　　役員会 年４回
支援者サポーター	71 名

足利市民活動支援センターで学ぶ市民の皆さん

足利市民活動支援センター
「被災地に学ぶ地域づくり」

足利市民活動支援センター主催の被災地支援報告会が開催され、コロナ禍の中、市民の方が参加し熱心に学び合いました。
被災地は人ごとでなく、私たちが、家族谷地行きの人々と支えあい「顔の見える町づくり」の推進こそ大事なことを噛みしめ合いました R2.12.17
R3.3.8～11 パネル展示会開催

あなたも一緒にサポーターになりましょう！

年一口￥3,000の支援で平和の支援者（サポーター）です。
ピースサポート協会は、多くの皆さんと共に、思いやりあふれる家庭や社会を拡げ、国内の被災された方々や、海外の貧困生活に苦しむ子供たちへ直接届く支援を推進しています。世界中の平和のために、私たちと一緒に平和支援のサポーターになりましょう。

世界中の幸せは一人の人の心から

NPO 法人 ピースサポート協会

事務所 〒379-2143 群馬県前橋市新堀町 190 番地１
TEL/Fax（027）265-2277 携帯 090-1113-9200
E-mail info@peace-sa.com　http://peace-sa.com